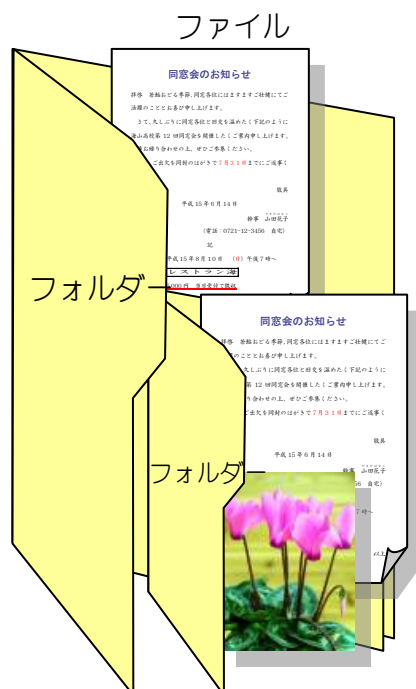
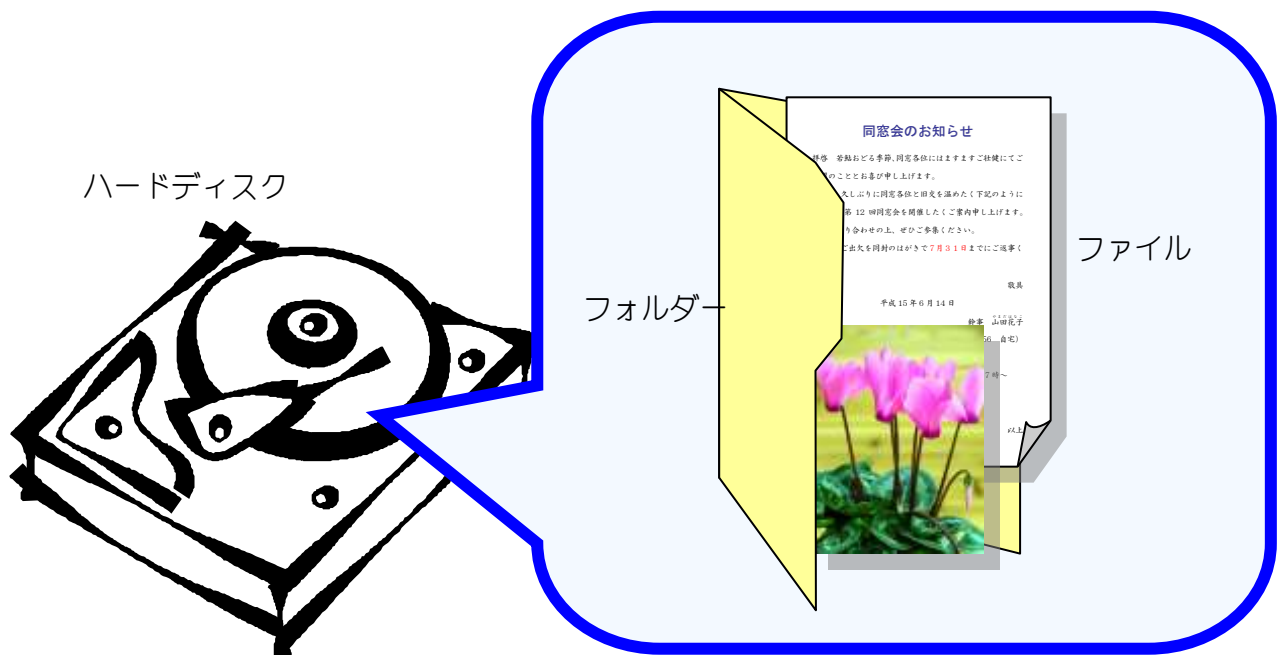


# 第1章 ■ ファイルとフォルダーの操作

## STEP 1. ファイルの保存

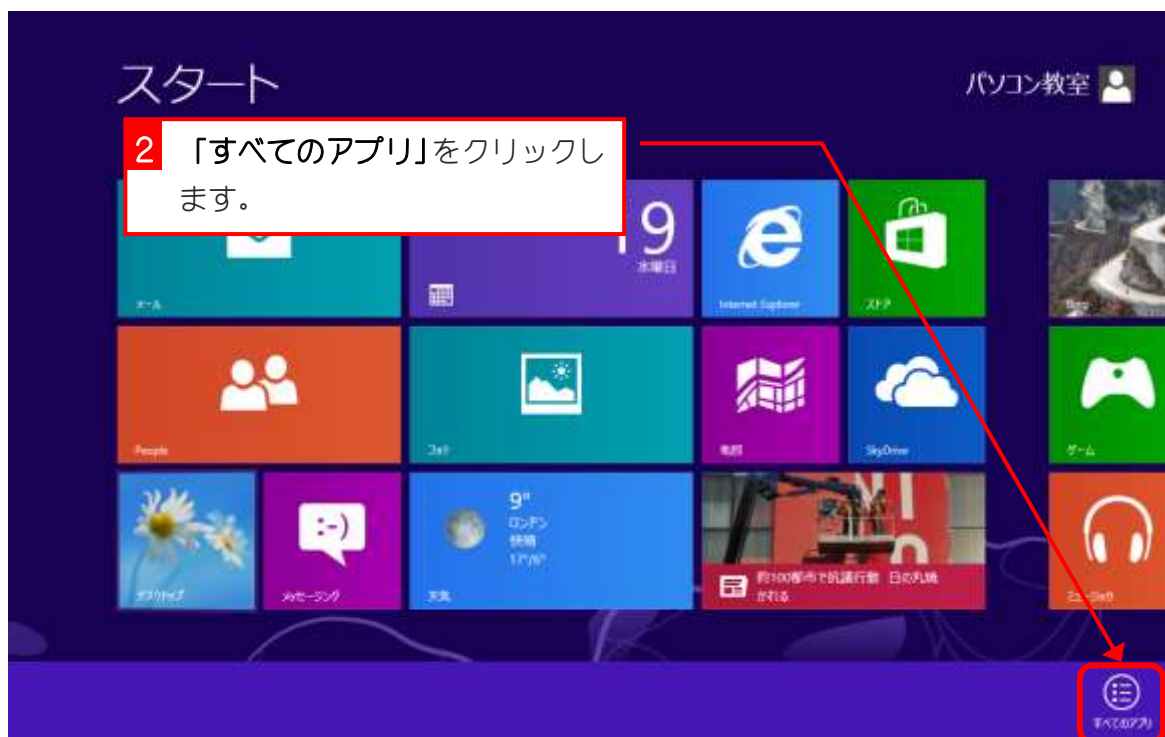
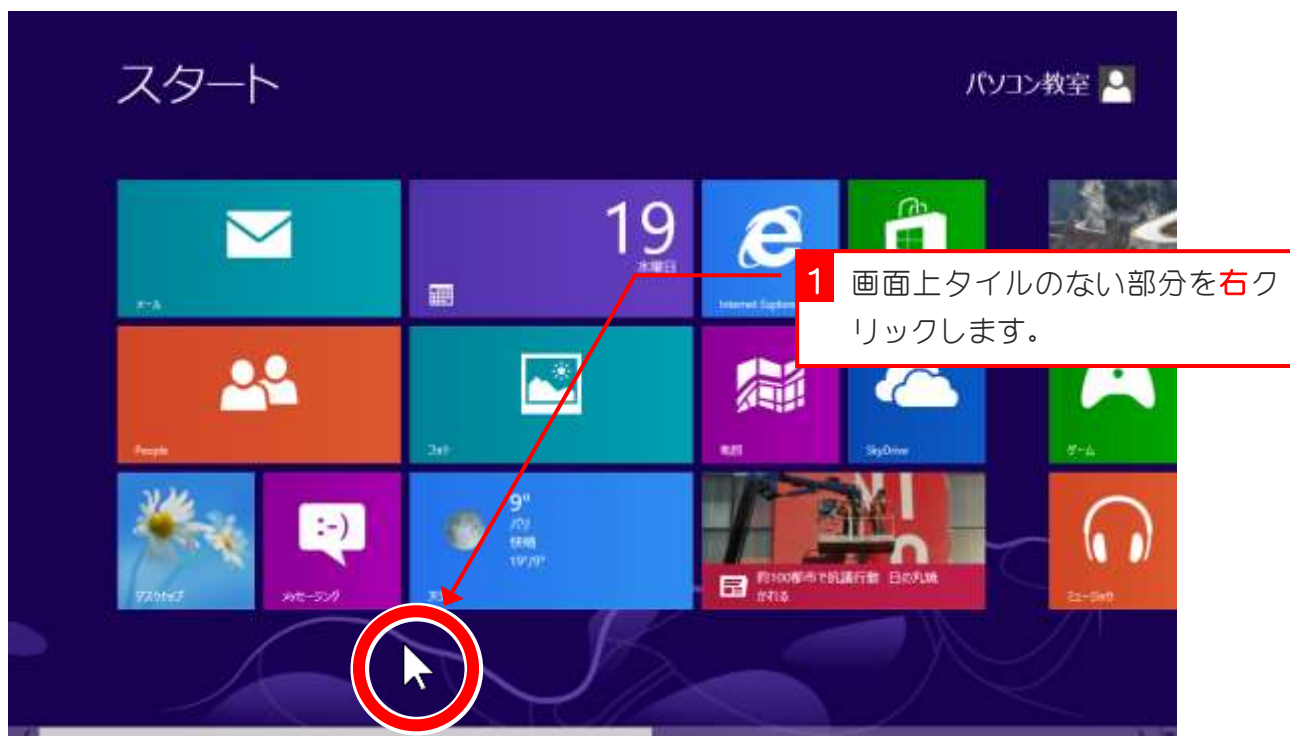
パソコンの中のデータやプログラムは**ファイル**という形で**ハードディスク**という記憶装置の中に記録されています。ワープロで作った文書やデジカメで写した写真のデータなども同じ**ファイル**の形で保存されています。これらのファイルを整理して保存するために**フォルダー**という入れ物を使います。



フォルダーの中には、ファイルのほかにフォルダーも作ることができます。

## 1. ペイントを起動しよう

ペイントを使って画像のファイルをピクチャに作ってみましょう。



すべてのアプリが表示されました。



## 解説 Windowsストアアプリ と デスクトップアプリ

### Windows (ウィンドウズ) ストアアプリ

Windows8用に新しく開発されたアプリ(ソフト)でタッチ操作に適しています。

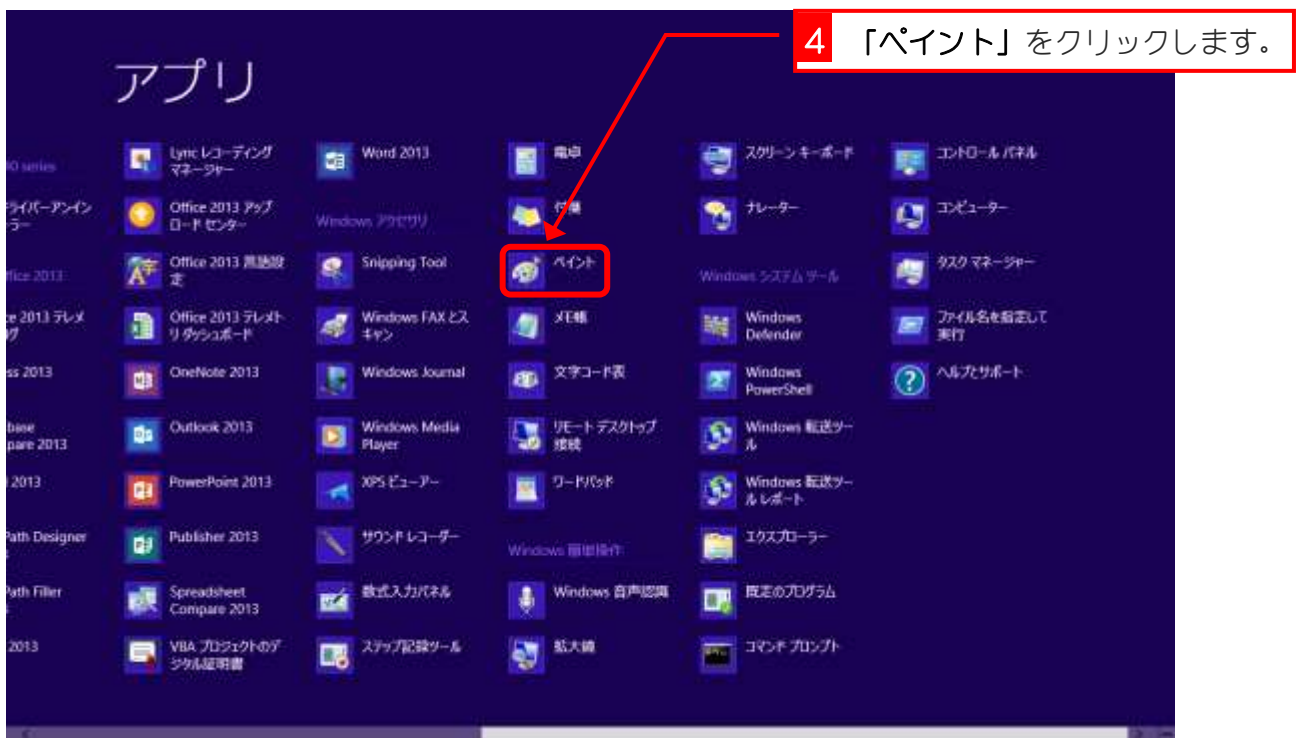
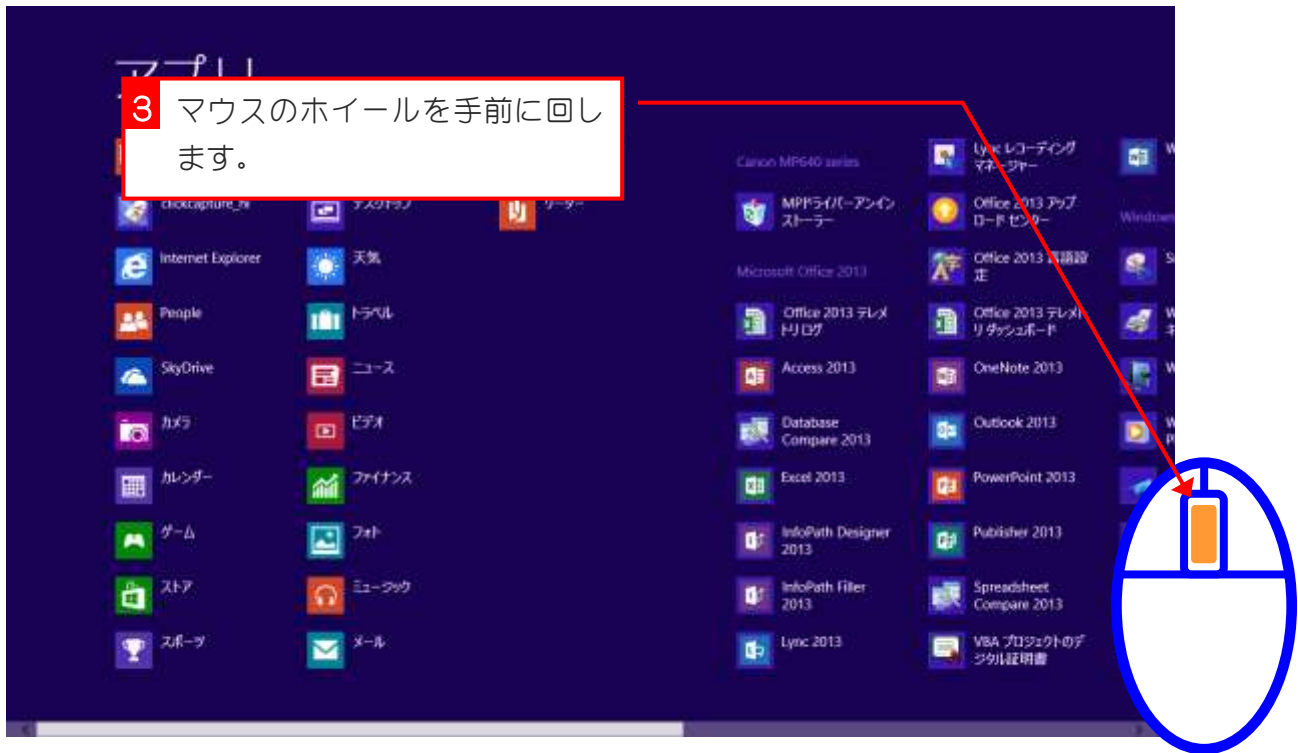
Windowsストアアプリを起動すると、画面いっぱいに表示されサイズ変更はできません。

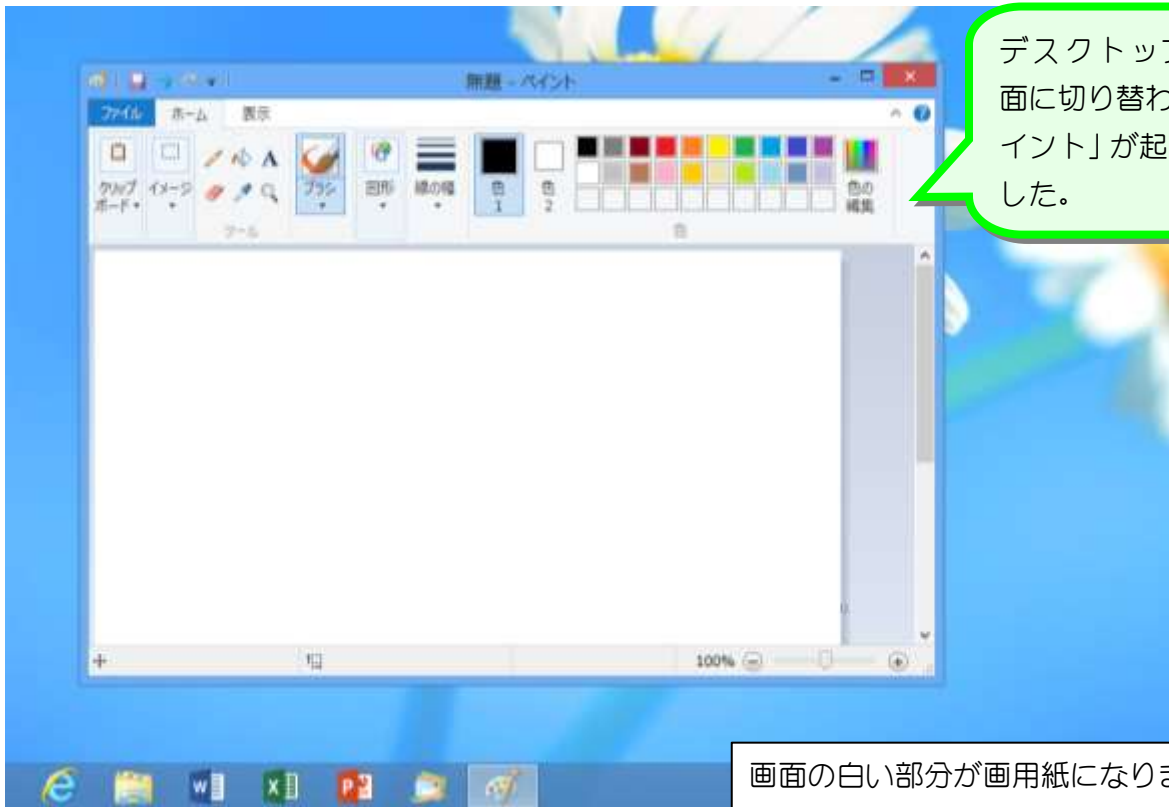
Windowsストアアプリは「Windowsストア」から入手して利用します。

### デスクトップアプリ


Windows7のパソコンで使用していたアプリ(ソフト)で、従来型のデスクトップ環境で利用します。デスクトップアプリを起動するとサイズ変更が可能な枠(ウィンドウ)内に表示されます。

タッチ操作の可能なアプリもありますが、多くのアプリはマウスを使ったほうが扱いやすいでしょう。





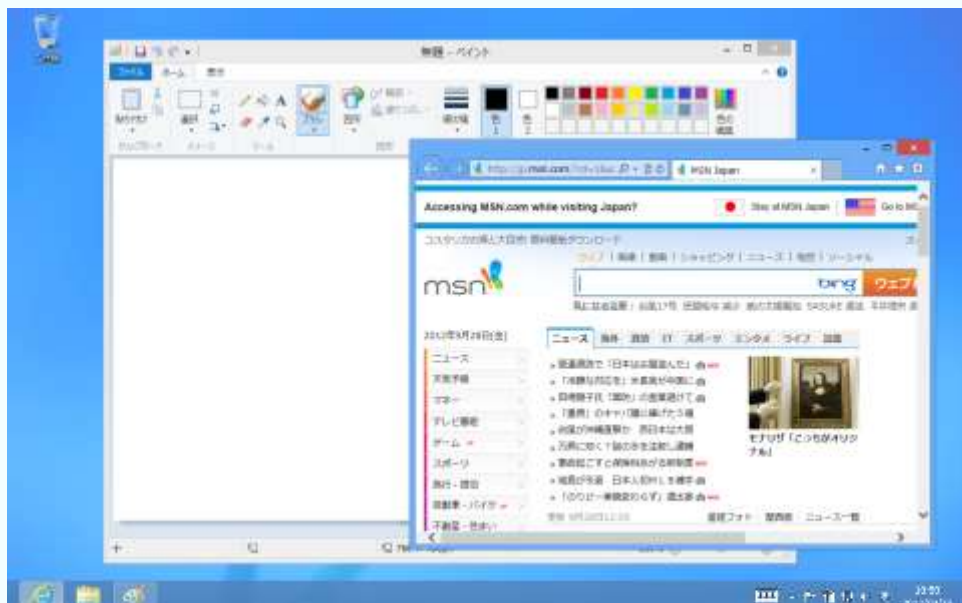
デスクトップの画面に切り替わり「ペイント」が起動しました。

画面の白い部分が画用紙になります。マウスポインタをこの白い部分に移動すると、 の形に変わります。

## 解説 ウィンドウ

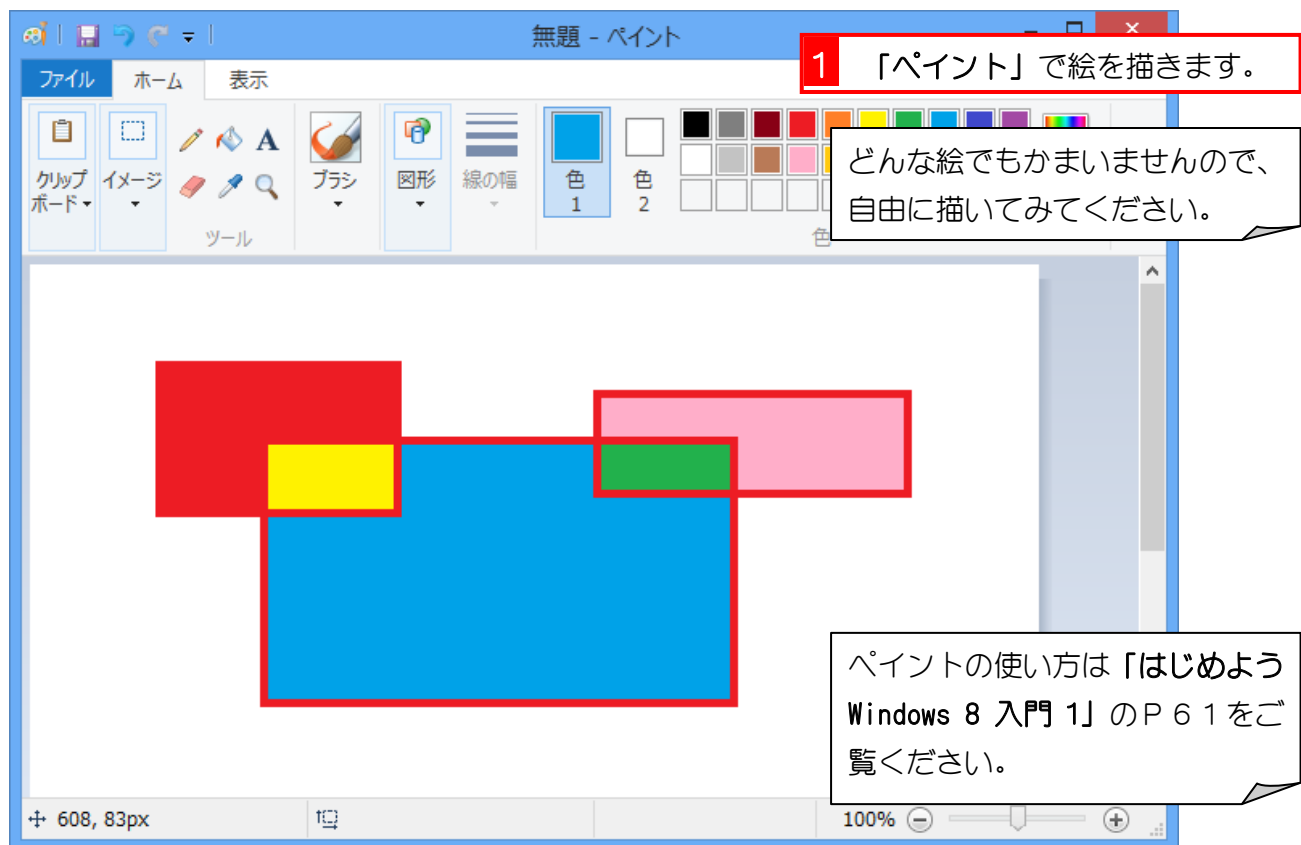
ペイントを起動するとデスクトップに四角い枠が表示されました。この四角い枠を「ウィンドウ」と呼びます。ウィンドウは大きさや場所を自由に変更することができ、一度にいくつものウィンドウを開いている色々なアプリを同時に使うことができます。

下の図ではペイントとインターネットを同時に開いています。

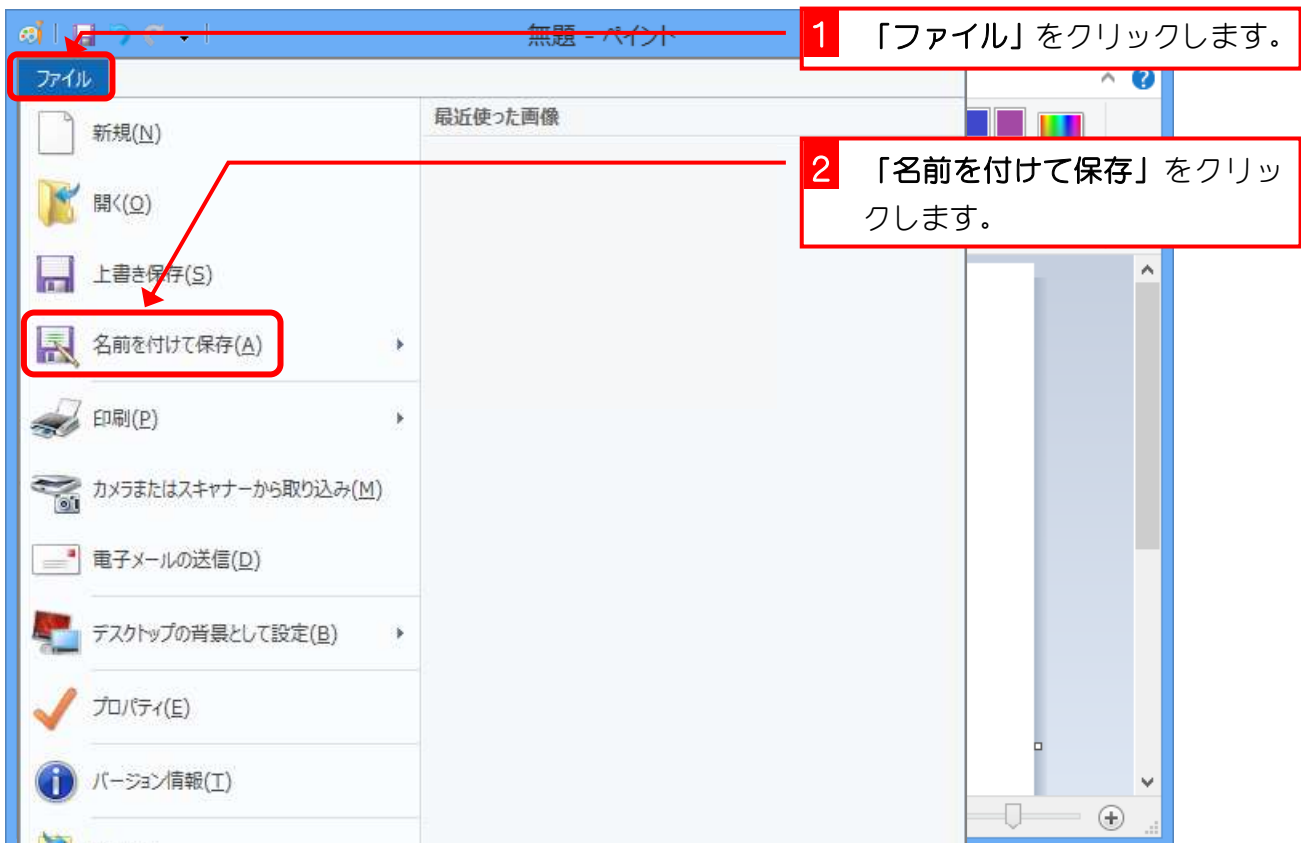


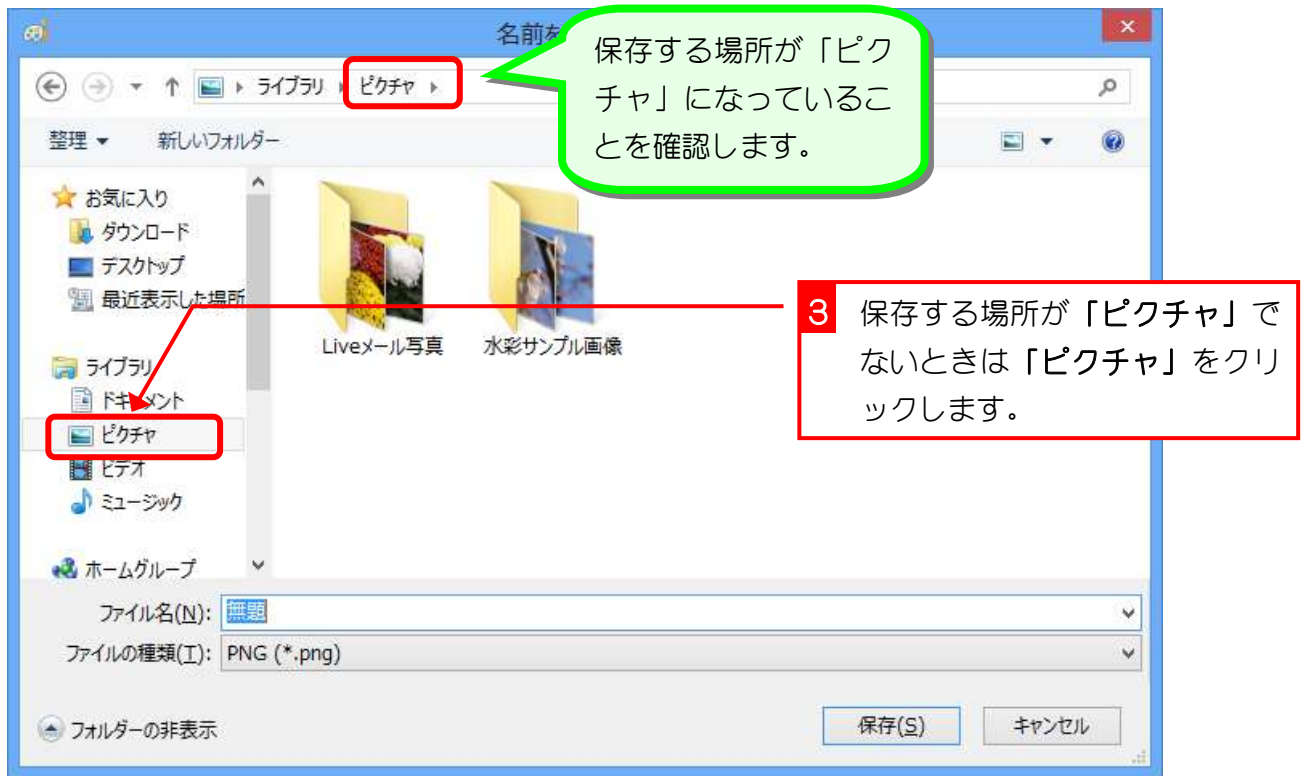


## 2. 絵を描きましょう



## 3. 絵を保存しましょう





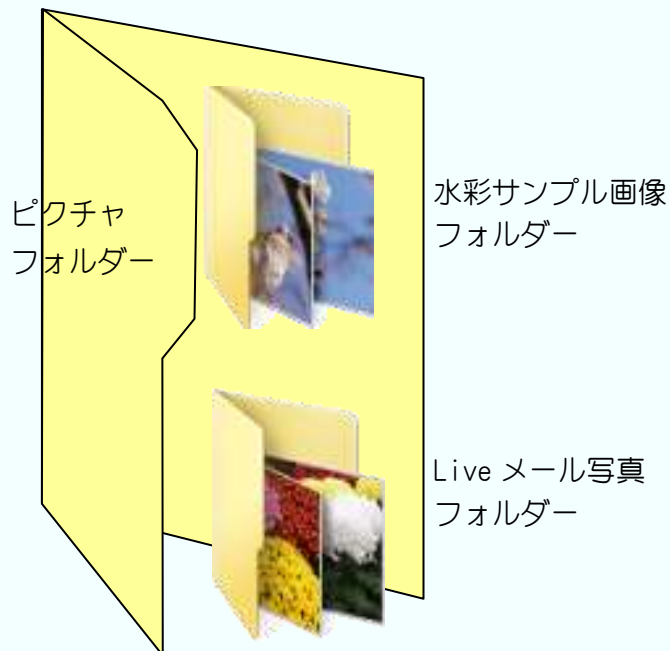
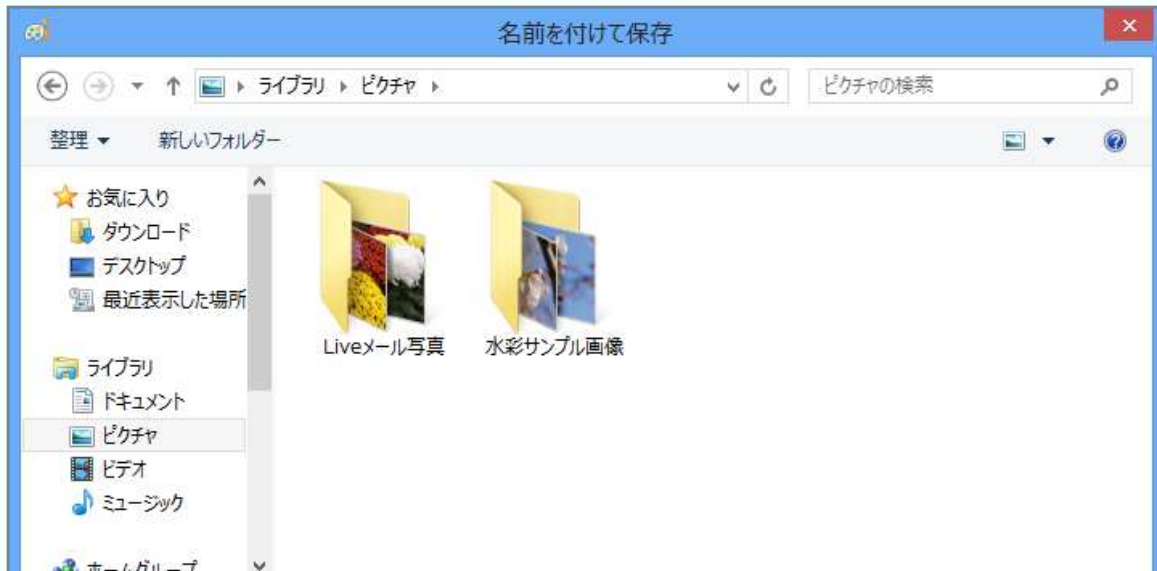
**参考** 「名前を付けて保存」の画面が小さいときは



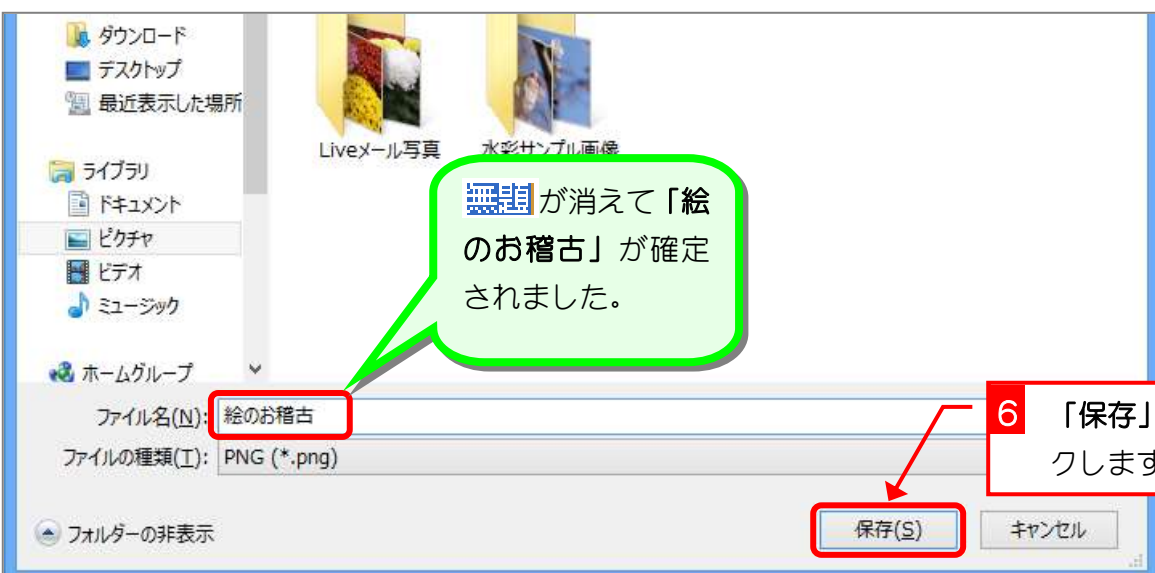
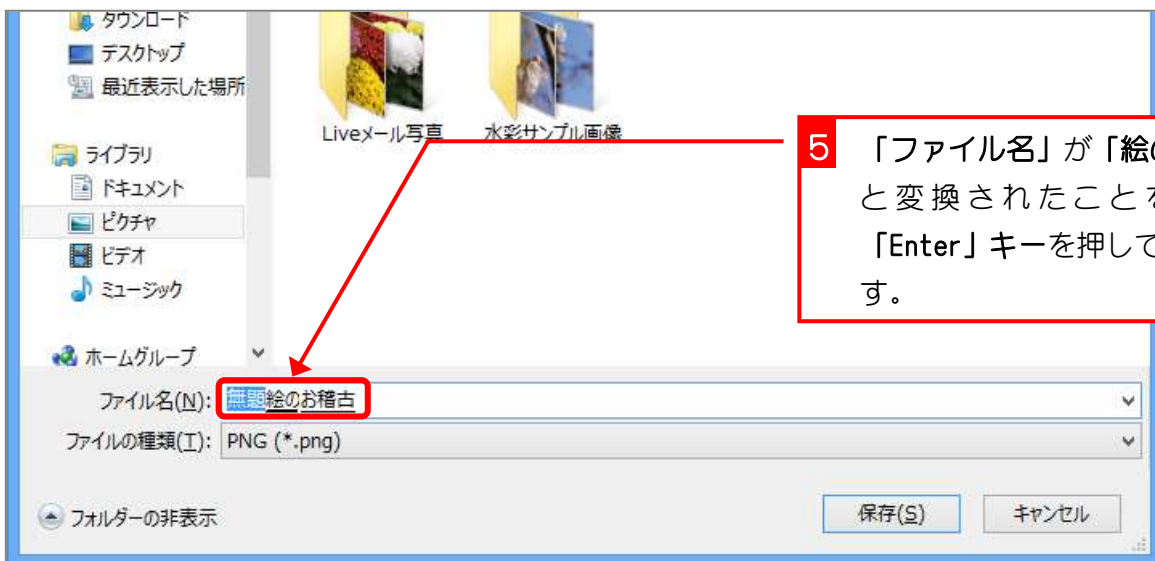
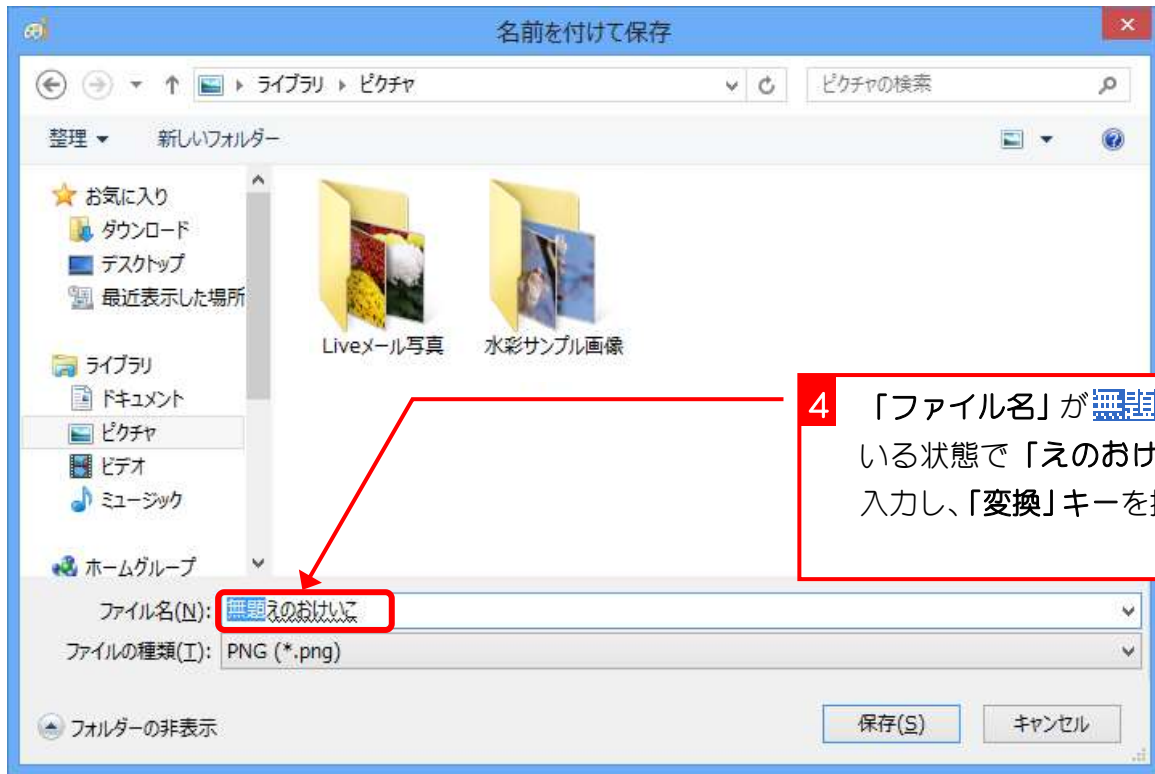
**A** 「フォルダーの参照」をクリックします。

## 解説

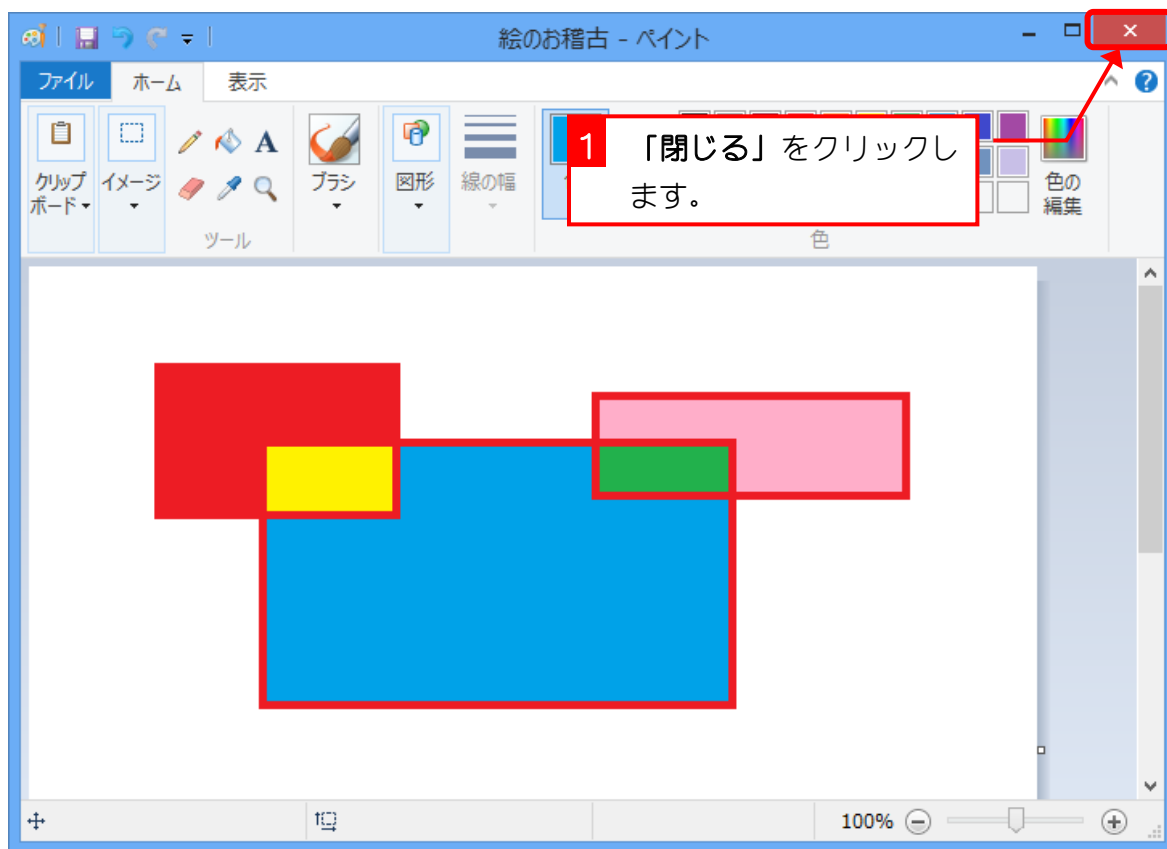
「ピクチャ」は Windows 8 が標準で用意した、写真などを入れるための「フォルダー」(入れ物)です。下の図では「ピクチャ」フォルダーの中に「写真を取り込む練習」フォルダーと、「Live メール写真」が入っています。







## 4. ペイントを終了しましょう



## 5. 保存したファイルを確認しましょう

エクスプローラーから「ピクチャ」を開いて「絵のお稽古」が保存されているか確認しましょう。

